

また全長30~40mmサイズになると共喰いが多くなり、共だおれ斃死が相ついで出るようになる。しかし40mm以上からはその性質はなくなってくる。

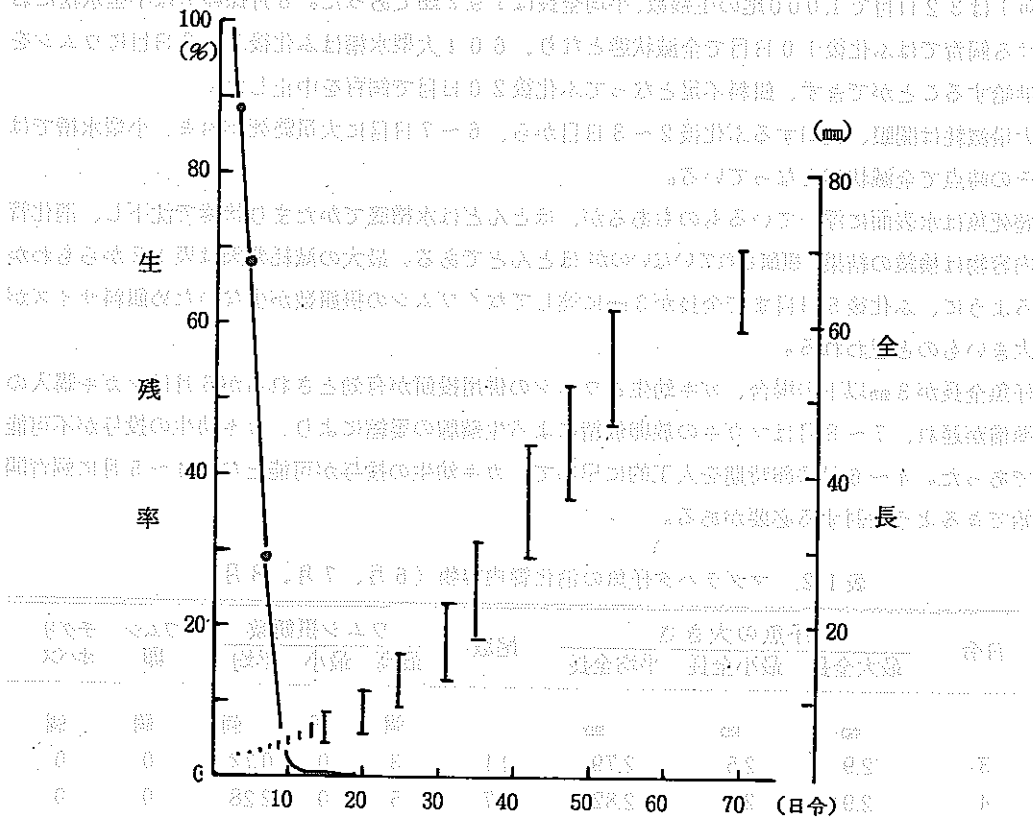


図50 60t水槽(No.1)における生存率と成長

## 2. コガネシマアジ養成試験 (*Grathanodon speciosus*)

地元種で大型アジ類コガネシマアジを遊漁者が一定期間決まった場所で釣獲しているという情報を聞き、その種が輸送して養成可能か検討した。

### 1) 材料と方法

#### 採捕場所

石垣島観音崎と竹富島を結ぶ海域の中間付近、水深が2.2~2.9m、2ヶ所に水深1.6~1.8mの瀬があり、北西方面に0.5~0.7ノット程度のゆるやかな潮流がある。漁獲期間は11月上旬から3月上旬頃まで一本釣で漁獲され、それ以外の期間はほとんど釣れない。この魚は群をなす性質があり、餌に良く食いつくが口部分があまり丈夫でなく体重の重みで口部がちぎれやすく釣獲対象種としては難しい部類にはいるようである。

#### 輸送方法

船上に仮設の水槽を設置して、釣獲されたらその水槽へ収容する。採捕場所から約30分要して石垣港へ接岸、あらかじめ貨物自動車に0.5t水槽を載せ、300ℓの海水を張って、その中に船上水槽よりコガネシマアジをタモ網ですくって移し替えた。石垣港から支場内仮水槽まで所要時間30分間でただちに室内水槽へ移し替えた。